

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月16日 (2017.11.16)

【公表番号】特表2015-523358(P2015-523358A)

【公表日】平成27年8月13日 (2015.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-051

【出願番号】特願2015-518452(P2015-518452)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 7 D 498/04 (2006.01)

A 0 1 N 43/90 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

C 0 2 F 1/50 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 471/04 1 1 7 A

C 0 7 D 498/04 1 0 5

C 0 7 D 498/04 1 1 2 T

A 0 1 N 43/90 1 0 2

A 0 1 N 43/90 1 0 3

A 0 1 P 3/00

C 0 2 F 1/50 5 1 0 A

C 0 2 F 1/50 5 3 2 C

C 0 2 F 1/50 5 3 2 D

C 0 2 F 1/50 5 4 0 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年9月29日 (2017.9.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 5】

前記システムがフラクチャリング流体、掘削流体、水攻法システム、油田水または生産流体である、請求項 7 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 0】

それらの安定性および熱活性化の特性のため、本発明の化合物は、水性システムもしくは水含有システム中または高温の場合を含み水分に曝されている諸システム中で微生物を長期間抑制するのに有用である。本発明の化合物は、高温で製造されるか、または貯蔵される生成物への取り込みにも有用である。この化合物は、油田もしくは天然ガス用途、製紙機械白水、産業再循環水、デンブン溶液、ラテックスもしくはポリマーエマルジョン、高温で製造されるコーティング材もしくは建材もしくは家庭用品もしくはパーソナルケア製品、プラスチック、熱間圧延機械加工液、または工業用食器洗浄機用液もしくはクリーニング用液、アニマルバイオセキュリティー溶液、または高レベルの消毒液中に存在しう

るまたは使用されうる水性システムまたは水含有システム中の微生物を抑制するのにも有用である。一部の実施形態において、水性システムまたは水含有システムは、油田または天然ガス用途で存在するかまたは使用されうる。そのようなシステムの例としては、フラクチャリング流体、掘削流体、水攻法システム、油田水および生産流体が挙げられるが、これらに限定されるものではない。